

Japan Male Chorus Association

JAMCA演奏会

2025年小田原で開催!

日本男声合唱協会(JAMCA)は、1973年1月、日比谷公会堂で第1回演奏会を開催して以来、およそ2年おきに開催を続けてきましたが、2021年に予定していた関東大会がコロナ禍で中止となり、その後かなり間が空いてしまいました。

今年、新型コロナウイルス感染症が5類へ変更され、合唱活動の制限が緩和されてきたことを受け、2025年小田原での開催を決定しました。実現すれば、2019年熊本大会以来6年振りとなります。

記憶に残る名演奏集

演奏会への参加資格は原則会員に限られますが、開催地の地元合唱団には門戸を開いています。演奏会は理事・監事団体の単独演奏と合同演奏が中心となっています。

例えば、熊本地震の復興を祈念した2019年4月の“きなっせ”九州・熊本演奏会では、単独6団体+九州合同「**典礼聖歌**」3曲と全国合同「**熊本民謡**」5曲を演奏しました。演奏の充実を図るため、当日リハ以外に複数の地区で事前練習を行うのが他の男声合唱大会と異なるところです。

合同演奏及び各団の演奏は「**記憶に残る名演奏集 I, II, III**」のCDとして収録され、貴重な記録となっています。

I. 第1回(1973)--16回(2004) 合同演奏 :

『**枯木と太陽の歌**』(石井勸)、『**月光とピエロ**』(清水脩)、『**レクイエム**』(三木稔)他/第1回記念委嘱作品「**信濃びとの語り**」(清水脩)/指揮者:畑中良輔、小林健一郎、荻久保和明、荒谷俊治、松原千振他という顔ぶれ

II. 第1回(1973)--9回(1988) 各団の演奏 :

広島メンネルコール、東京リーダーターフェル1925、東海メールクワイアー、弘前メンネルコール

III. 第10回(1990)--15回(2002) 各団の演奏 :

広島メンネルコール、東京リーダーターフェル1925、東海メールクワイアー、弘前メンネルコール、小田原男声合唱団、グリークラブ香川

また、JAMCA会員合唱団による「**男声合唱委嘱作品集**」もCD化されています。

【作品集1】

- 1.磯部俣曲「**犀川**」(いそべとし記念男声合唱団)
- 2.多田武彦曲「**西湘の風雅**」(小田原男声合唱団)
- 3.松下耕曲「**日本の民謡第3集**」(東海メールクワイアー)
- 4.千原英喜曲「**荘厳、光に向かって**」(クレセント・ハーモニー)

【作品集2】

- 1.信長貴富曲「**見よ、かの蒼空に**」(男声合唱団コールM)
- 2.新実徳英曲「**舞歌Ⅲ-縄文幻想-**」(所沢メンネルコール)
- 3.服部公一曲「**詩人の肖像**」(弘前JAMCA東北合同演奏)
- 4.鈴木憲夫曲「**祈祷天頌**」(東京リーダーターフェル1925)

JAMCAは楽譜の編纂も手掛けています。「**銚をおさめて**」「**出船**」「**平城山**」「**雪の降る街を**」などを収めた男声合唱「**日本歌曲合唱曲集**」(編曲:三木稔)、「**Open The Lattice, Love**」「**Oh! Susanna**」「**Beautiful Dreamer**」「**My Old Kentuckey Home, Good-Night**」他を収めた「**FOSTER ALBUM**」(編曲:三木稔)をPana Musica (メロス・シリーズ)より出版しています。

詳しくはJAMCA公式サイトをご覧ください。

<http://jamca.web.fc2.com/>

<https://www.facebook.com/JAMCA.S46?ref=hl>

「じゃむか通信」100号達成

機関紙「じゃむか通信」はJAMCA発足25周年を機に1998年4月に発行が開始されました。創刊号の巻頭言「創刊にあたって」は当時事務局長であった川瀬治通さんの執筆になるものでした。

「じゃむか通信」は6月26日発行でついに100号に達しました。おめでとうございます。その時々話題に加え、連載ものとして合唱指揮者松原千振さん「**男声合唱考**」、同じく飯沼京子さん「**京子の部屋**」、東海メールクワイアー会長都築義高さん「**男声合唱よ歳!**」、日本のバーバー・ショップ・ハーモニーの先駆者のお一人菅野哲男さん「**男声合唱四方八方話**」などで構成されています。また、男声合唱の新譜情報もあります。

